



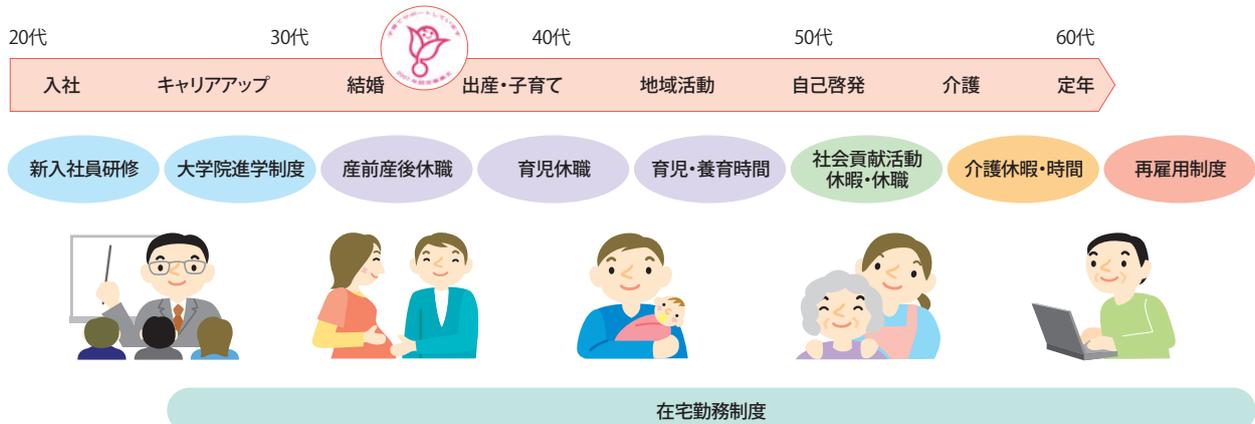
# 入社から定年後までを支える各種制度

さまざまなライフステージにおいて必要な制度を利用しながら、安心していきいきと働き続けることのできる環境を整えています。

## 各種制度の継続的推進と新制度導入

各種制度の継続的な推進とともに、必要に応じた見直し・改善や、新しい制度の検討・導入を行っています。2007年度はとくに、在宅勤務制度(2008年6月導入)に向けた試行運用や環境・ツールの整備を行うとともに、定年退職後の再雇用制度を充実させました。

「ライフステージに合わせて」～入社から定年後までいきいきと～



**V OICE 雇用延長者から**

**専門分野を続けられる幸せ**

入社以来、CAEという数値解析分野(自然や製品の振る舞いを予測したり検証する技術)一筋で来ました。開発した製品が活用されることで、お客さまの開発・生産性向上のお役に立てたときには充実感が得られ、そして今なお、この分野に専念し続けられることに幸せを感じています。

家庭では育児や介護があり大変でしたが、育児は地域の方の力を借り、家族は1日に1時間じっくり話せば大丈夫と前向きに考えてがんばりました。また、両親の介護は家族で協力し合い、会社のフレックスタイム制度や外部のデイサービスをフルに活用しながら15年間を乗り切りました。これからは、成長した娘と共同研究をし、成果を発表することが私の夢となっています。



USOL東京 PLMシステムP  
**南 たか子**

**V OICE 雇用延長者から**

**雇用延長で現役時代より豊かな生活  
～仕事、趣味、健康、そして地域貢献も～**

38年の勤務を経て、この3月に定年を迎えました。現役時代はSE、営業、広報、プレゼン指導、テレマーケティングとさまざまな経験をしました。1年半前に在宅勤務の試行を希望し、雇用延長の現在も週2～3日で継続中。主に、部署の社内向けサイト更新や資格試験の受験促進を担当しています。私の毎日は、朝5時起床。5時半から7時までは妻と手賀沼の周りを1万歩ウォーキング。朝食の後、8時から17時ごろまで途中休憩を挟みながら、ゆとりを持って快適に働くといった具合です。週末はご近所の引退組へのパソコン教室での指導、隔週の趣味「寄席文字教室」の習いごと、月1回の柏落語会でのボランティアと、充実した楽しい人生を送っています。



日本ユニシス人材育成部  
**熊谷 正宏**

## VOICE 育児休職者から

### 休職中も会社とつながる安心感

3回目の産休・育休で初めて、休職期間に自宅から社内LANへのアクセスを試行し、社内Webサイトやメールを中心に利用しました。

休職中に社内LANにアクセスするメリットは、復職への良いウォーミングアップになる、ということです。出産後、半年くらいして少し落ち着いてきたころから自然にアクセスし始めましたが、会社の最近の動きを知ったりメールで人脈をつないだりして、会社につながっているということが実感でき、励みになりました。今回の試行で在宅勤務の雰囲気

気が少しわかったような気がします。在宅勤務制度や今回のような休職中の社内アクセスが使えるれば、育児や介護をしている人でも自分らしく働き続けることができ、さらに働きやすくなると思います。



日本ユニシス 内部監査部  
蛭谷 恵里

## VOICE 積立特別有給休暇(介護)利用者から

### 職住接近で子どもと思いきり遊ぶ

3歳の息子の育児を思い切り楽しんでいます。積立特別有給休暇を、子どもが病気の時や妻が数日不在のときに利用しています。出産は米国だったため、勤続30年のリフレッシュ休暇を取得して、子どもと感激の対面をして親子3人で帰国することができました。所属する部署では両立支援制度を取りやすい雰囲気があり、また職住接近のため10分の自転車通勤で昼も家で食事ができ、帰宅後は公園や図書館に行つて子どもとしっかり遊んでいます。子育てを通じて、若くかつ

ていいお父さんになりたいとマラソンを始め、服装にも気を遣い始めました。夫婦で助け合い、会話も増えたように思います。子どものような好奇心と探究心を持っていられる会社を夢見ています。



ユニアデックス 中部サービス統括部  
サービス1部  
河野 裕司

## VOICE 育児時間利用者から

### 両立支援制度のありがたさを痛感しています

小3の女子と4歳の男子がおり、現在は育児時間を利用しています。長女を出産したころは育児時間が3歳まででしたが、2006年から取得期間が延長されて本当に助かりました。小学生になると学童保育や稽古ごとなど、かえって時間的制約が多くなるのですが、制度のおかげで仕事を辞めずにすみました。夕方1時間早く帰ることで、生活のスタイルが大きく変わり気持ちにもゆとりが出てきます。職場の上司・同僚のサポートと理解に感謝しております。急な仕事や繁忙時などには臨機応変な対応が必要ですが、そんなとき

は家族で協力し合い、仕事と仕事以上に大切な家庭をうまく両立しているよう、自分なりのライフスタイルを確立できればと思っています。



日本ユニシス  
関西支社業務推進室  
山之内 眞琴